

2025年6月4日
株式会社エクサウィザーズ
(コード番号: 4259 東証グロース)
株式会社 Exa Enterprise AI

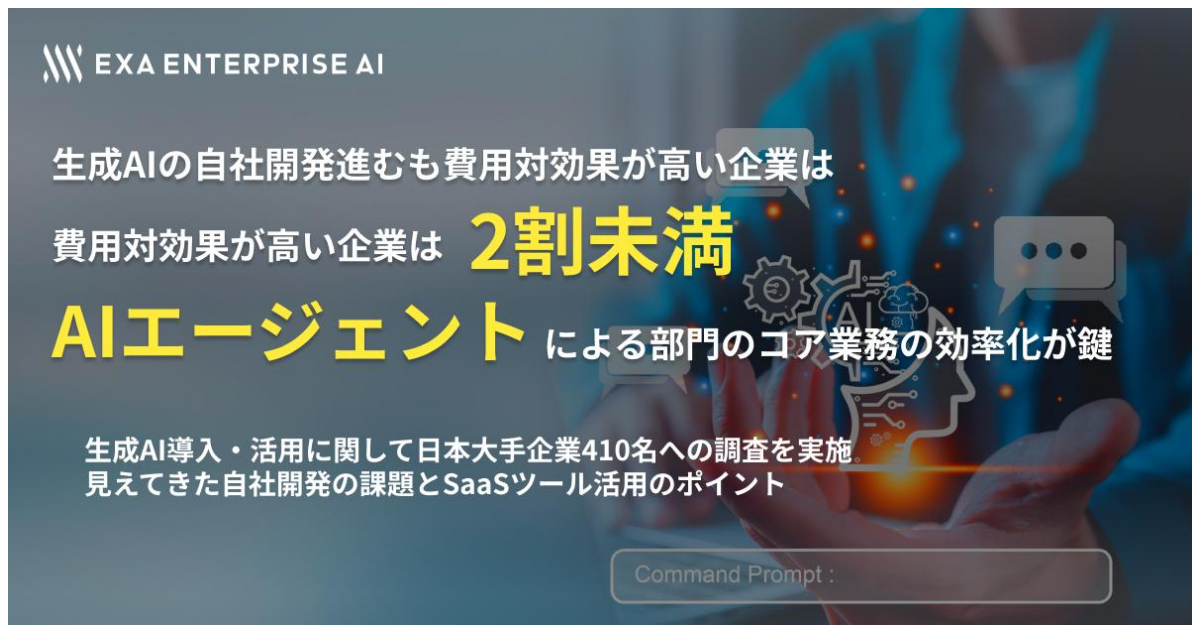
生成 AI の自社開発進むも、費用対効果が高い企業は 2 割未満 AI エージェントによる部門のコア業務の効率化が鍵

～ 生成 AI 導入・活用に関して日本大手企業 410 名への調査を実施
見えてきた自社開発の課題と SaaS ツール活用のポイント ～

株式会社エクサウィザーズのグループ会社である株式会社 Exa Enterprise AI（東京都港区、代表取締役：大植 拓真、以下 Exa Enterprise AI）は、創業 30 年以上かつ従業員数 300 人以上の企業（以下日本の大手企業）へ「日本の伝統的大手企業における AI の自社開発やツール導入・活用調査」を実施し、410 名から回答を得ました。その結果、自社開発に平均 3,165 万円が投じられる一方で、高い費用対効果（ROI）を達成できているのは 2 割未満という結果となりました。また、AI エージェントを含めた生成 AI SaaS ツールをより活用するためには、各部門のコア業務に早期に導入していくことがポイントであることが見えてきました。

調査レポートは、以下の URL よりダウンロードできます。

<https://event.exawizards.com/misc/2025039>



▣本調査結果のポイント

〈自社開発の課題〉

生成 AI の導入投資額は平均 3,165 万円が投じられる一方で、高い ROI を達成できているのは 2 割未満 (17.6%) にとどまっており十分な成果が出ているとは言い難い。その要因は以下 3 つであることが分かった。

- ① 7 割が実用化に至らなかったものがあつたと回答し、その後再開発に挑戦したのは 2 割と、開発の難易度が高いために開発失敗が AI 活用機運の失速を招いてしまう
- ② 3 割は 1 年以上アップデートしておらず、システムが陳腐化してしまう
- ③ 6 割以上がプロンプト共有の仕組みがなく、利用促進の仕組みが作れていない

〈SaaS ツールの活用〉

年間の支払い費用総額は平均 1,445 万円と低いものの、活用しきれていないという結果となった。高 ROI を実現できている企業と比較すると、活用促進のための以下 4 つのポイントが見えてきた。

- ① 導入検討期間が長い
- ② 運用ルール・体制整備に時間をかけている
- ③ 生成 AI ツールの導入件数が少ない
- ④ 活用している業務は文章要約などが中心で、社内問合せ対応や各部門のコア業務となるような企画開発業務への導入が少ない

☑本調査の概要

- ・調査概要：日本の伝統的大手企業における AI の自社開発やツール導入・活用調査
- ・調査方法：インターネット調査
- ・調査期間：2025 年 5 月 8 日～5 月 10 日
- ・有効回答：創業 30 年以上かつ従業員数 300 人以上の企業に所属する 410 名の会社員

☑自社開発における生成 AI の導入・活用状況

(1) 投資額や投資効果

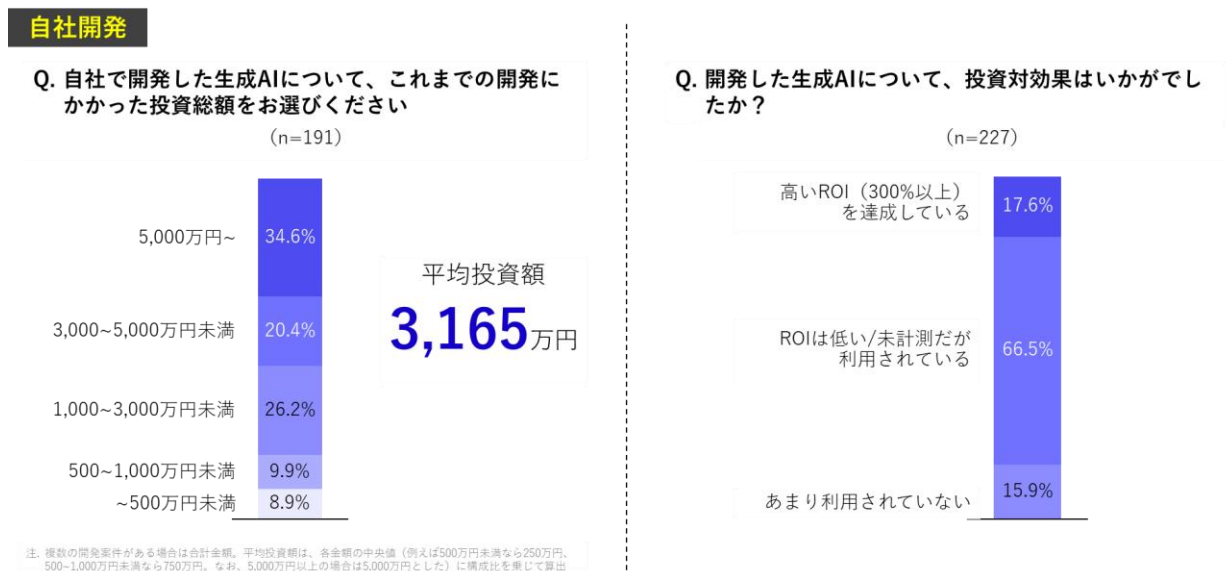
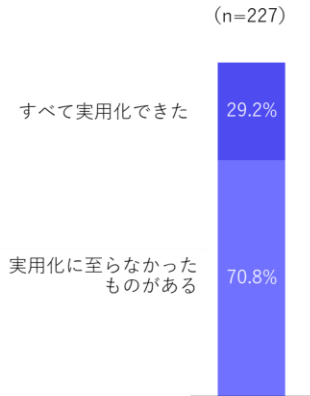


図 1：生成 AI の自社開発における投資総額と投資対効果（出所：Exa Enterprise AI）

生成 AI を自社開発している日本の大手企業は平均 3,165 万円を投資していました。一方で、高い ROI (300%以上) を達成できているのは 2 割 (17.6%) にとどまりました。

自社開発

Q. (自社で開発した生成AIについて) そのAI開発は実用化されましたか?



Q. 開発がうまくいかなかった後、別のAI開発を検討・実施しましたか?

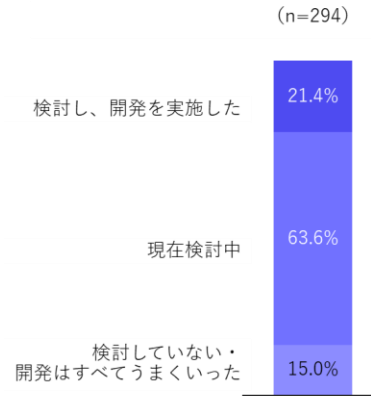


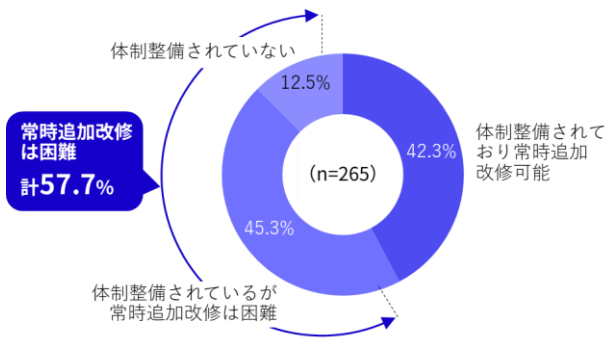
図 2：生成 AI の自社開発における実用化の状況と再開発について (出所：Exa Enterprise AI)

要因①

自社開発のうち、実用化に至らなかったものがあると回答が7割に達し、その後に再開発した企業は2割にとどまる結果となりました。開発の難易度が高く、実用化に至らないとAI活用の機運を失速させてしまっている現状が浮き彫りとなりました。

自社開発

Q. 自社環境の開発・運用体制について、あてはまるものをお選びください。



Q. 現場運用の開始から何か月後にアップデートを行いましたか? (モデルの更新や機能追加など)

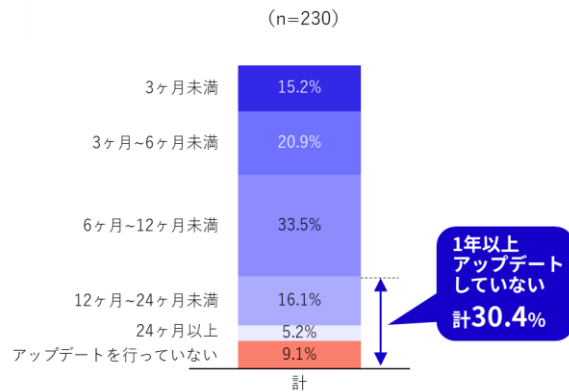


図 3：生成 AI の自社開発における運用体制とアップデートの頻度について (出所：Exa Enterprise AI)

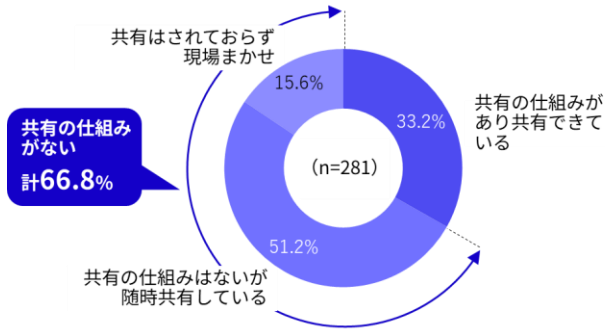
要因②

また、常時追加改修が困難な企業は5割以上、開発後に約3割が1年以上アップデートしていないという結果となりました。生成AIの自社開発において多額の投資をした一方で、急激な環境変化に対応できず開発後のシステムが陳腐化してしまっている大手企業も多く見られました。

(2) 活用状況

自社開発

Q. 成果の出たプロンプトのナレッジ化や共有はどの程度行えていますか？



Q. 社内向け環境のWAUは社内利用対象者全体の何%程度ですか？

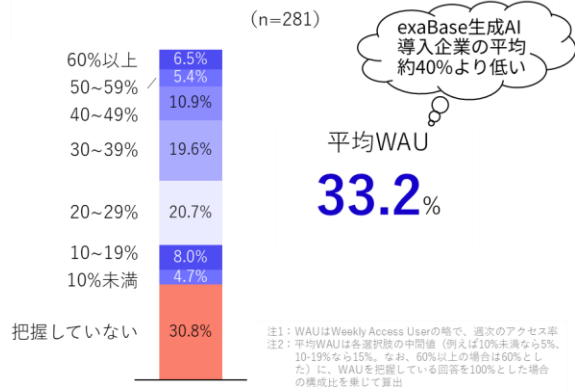


図4: 生成AIの自社開発におけるプロンプト共有の状況とWAUについて (出所: Exa Enterprise AI)

要因③

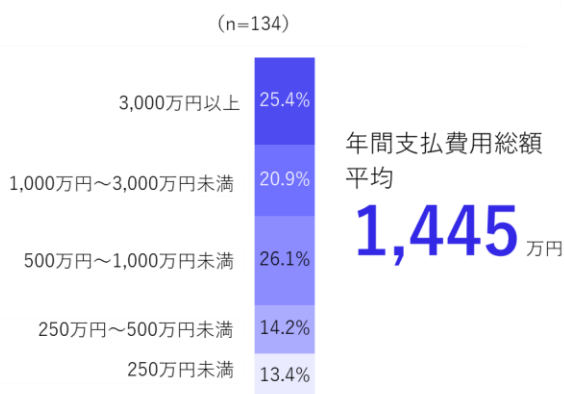
自社開発において、成果がでたプロンプトを共有する仕組みがない会社は6割以上となりました。また、社内利用対象者全体のWAUの平均は33.2%で、WAUを把握していないという企業も3割となりました。平均WAUが40%を超えている当社の「exaBase 生成AI^{*1}」は、カスタムテンプレートなどのナレッジ共有の仕組みを持っています。今回の超結果と比べると高くなっており、利用促進の仕組みが作れていない様子が見えてきました。

生成AI SaaSの導入・活用状況

(1) 投資額や投資効果

SaaS

Q. 生成AI SaaSのAIツールの支払費用の総額は年間どの程度でしょうか？



注: 支払費用総額の平均は、各選択肢の中間値 (例えば、250万円未満なら125万円、250~500万円未満なら375万円。なお、3,000万円以上の場合は3,000万円とした) に構成比を乗じて算出

Q. 生成AI SaaSのAIツールの投資対効果はいかがでしたか？

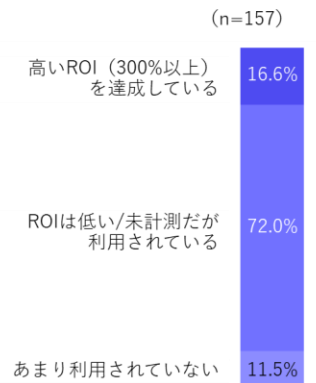


図5: 生成AI SaaSツールの年間支払費用と投資対効果 (出所: Exa Enterprise AI)

生成 AI SaaS を導入している日本の大手企業の年間支払費用の総額は平均 1,445 万円となり、自社開発の半分以下という結果となりました。また、高い ROI (300%以上) を達成できているのは 16.6%にとどまりました。

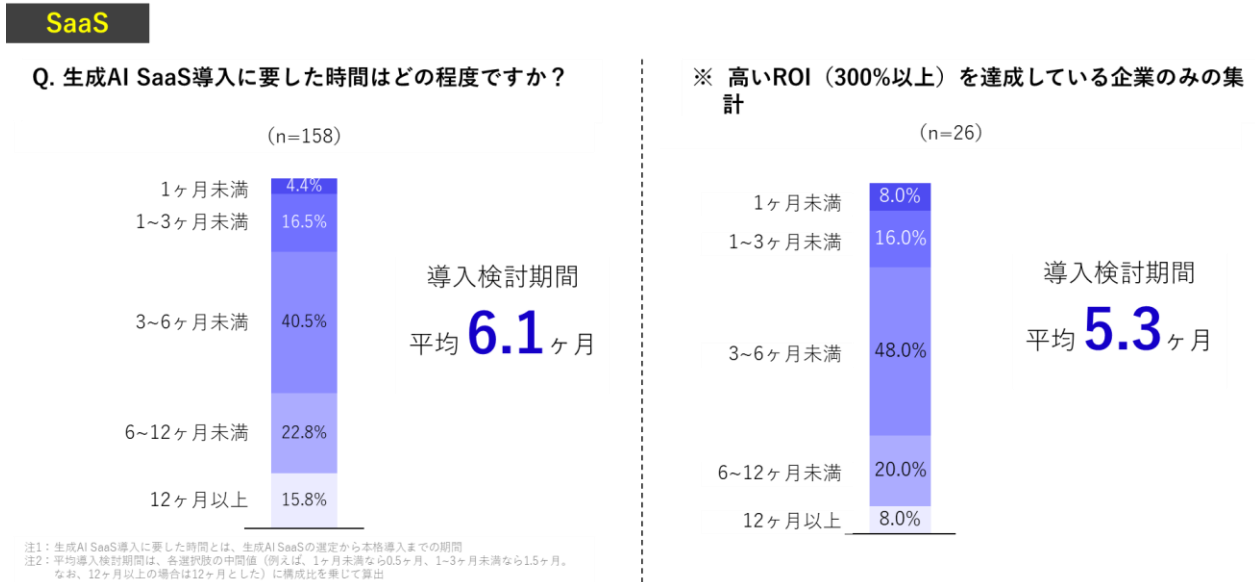


図 6：生成 AI SaaS ツール導入に要した時間（出所：Exa Enterprise AI）

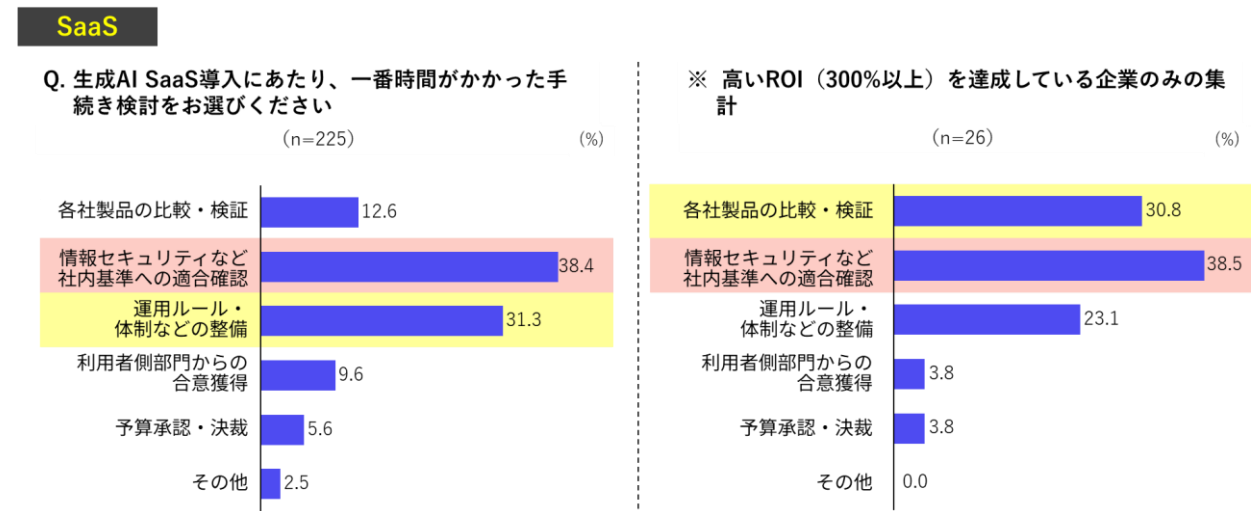


図 7：生成 AI SaaS ツール導入にあたり一番時間がかかった手続き（出所：Exa Enterprise AI）

ポイント①、②

導入に要した時間は平均 6.1 ヶ月で、高い ROI を達成している企業のみで集計した場合は平均 5.3 ヶ月と 0.8 ヶ月短いという結果となりました。また、時間を要した手続きは情報セキュリティの対応や社内体制整備となりました。高い ROI を達成している企業のみで見ると、「製品比較・検証」の割合が多くなりました。

(2) 業務への導入状況

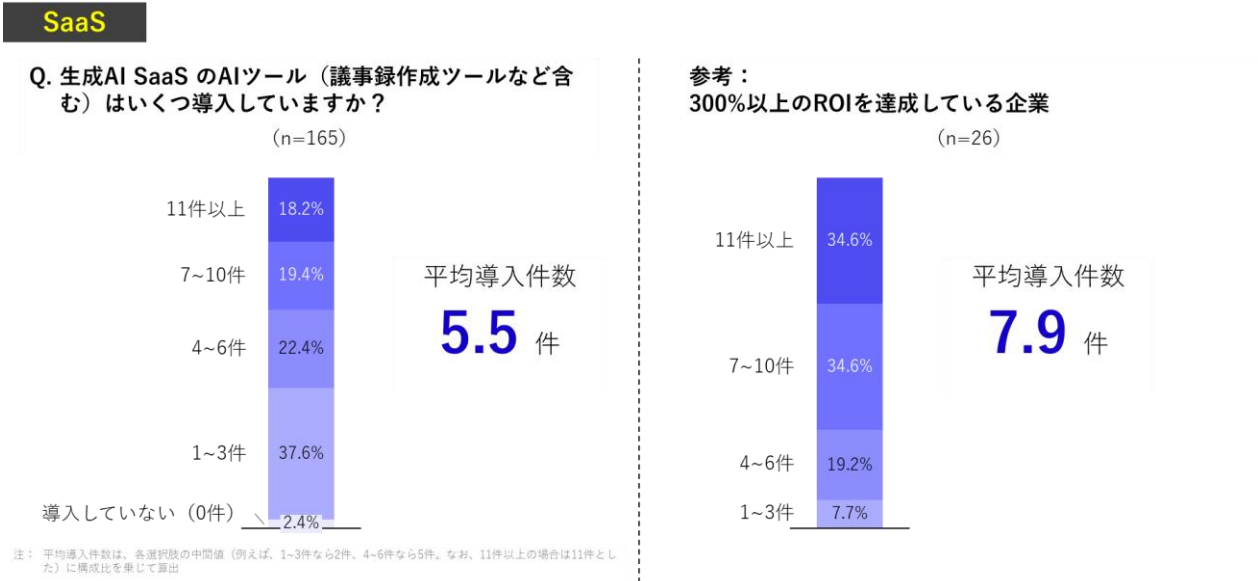


図8：生成AI SaaS ツールを導入している件数（出所：Exa Enterprise AI）

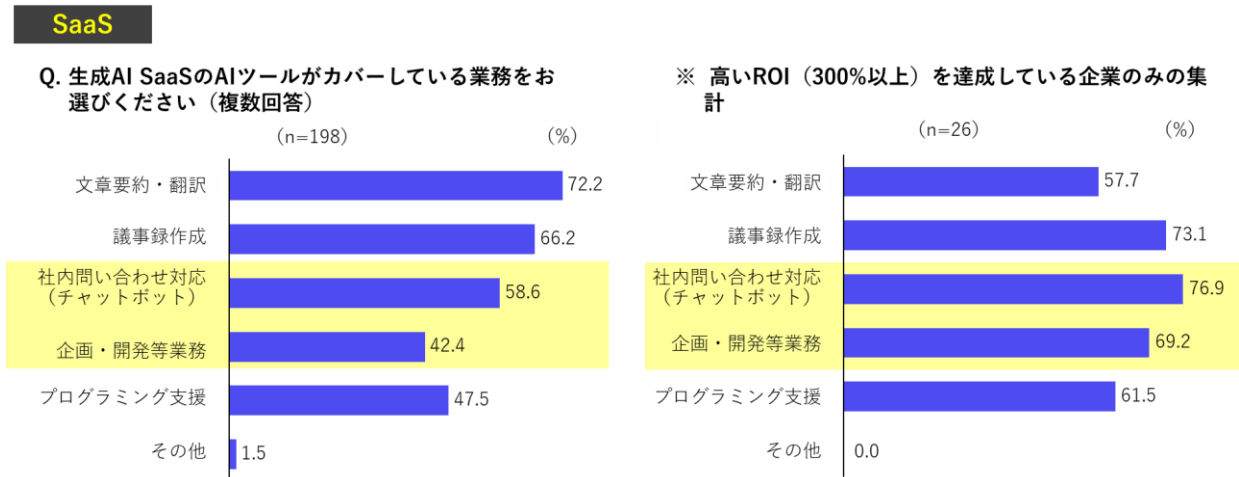


図9：生成AI SaaS ツールがカバーしている業務（出所：Exa Enterprise AI）

ポイント③、④

生成AI SaaSの導入数は平均5.5件、高いROIを達成している企業のみで集計した場合は平均7.9件となりました。

生成AI SaaSを導入している企業に、どのような業務に活用しているか質問したところ、社内問い合わせ対応が6割、企画・開発等業務が4割となりました。また、高ROI達成企業では、これらの業務に導入している例が多いという結果となりました。

☑調査結果を踏まえたコメント

Exa Enterprise AI 代表取締役 大植 択真

本調査から、日本の大手企業において生成 AI の自社開発で十分な成果がでていない現状が浮き彫りとなりました。また、SaaS ツールは導入コストが低いものの、十分に活用できていないといった実態が見えてきました。

当社はこれらの課題を解決し、企業が自ら AI エージェントを作り、使いこなし生産性を上げられる世界にしていきたいと考えています。そのための施策は2つあります。

1つ目は、法人向けのセキュリティ・ガバナンス対策がされた SaaS ツールを早期に導入することです。2つ目は、企業の競争力強化に繋がるような重要な業務に活用していき、WAU など見ながら改善を行うという PDCA を回していくことです。これらに取り組むことにより、生成 AI 技術が加速的に進化し、AI エージェント実用化も始まりつつある現在において、日本の大企業が生成 AI 導入効果を最大化できると考えています。

当社は、日本企業における AI 活用をさらに活性化させるための AI エージェントサービスを、今後も提供してまいります。

☑エクサウィザーズグループの AI エージェント戦略について

2025年6月4日に、当社グループの AI エージェント戦略および新サービスに関する記者発表会を実施しました。そのダイジェスト版を以下 URL にて本日 17 時以降に公開予定です。

是非ご覧ください。

URL : <https://exawizards.com/archives/30231/>

* 1 exaBase 生成 AI は国内市場シェア 1 位を獲得し、2025年3月末時点で 8 万以上のユーザーに利用いただいています。

出典：デロイト トーマツ ミック経済研究所「法人向け生成 AI 導入ソリューションサービス市場動向 2024 年度版」、2024年8月13日付プレスリリース：[「exaBase 生成 AI」が「法人向け生成 AI 導入ソリューションサービス市場動向 2024 年度版」において市場シェア 1 位を獲得](#)

【Exa Enterprise AI 会社概要】

会社名 : 株式会社 Exa Enterprise AI

所在地 : 東京都港区芝浦 4 丁目 2-8 住友不動産三田ファーストビル 5 階

設立 : 2023 年 10 月

代表者 : 代表取締役 大植 択真

事業内容 : 生成 AI 等のテクノロジーを利活用したプロダクト・サービス等の企画・開発・販売による企業の業務改革、生産性向上

URL : <https://exawizards.com/eai/>

【エクサウィザーズ 会社概要】

会社名 : 株式会社エクサウィザーズ (証券コード 4259)

所在地 : 東京都港区芝浦 4 丁目 2-8 住友不動産三田ファーストビル 5 階

設立 : 2016年2月

代表者 : 代表取締役社長CEO 春田 真

事業内容 : AI を利活用したサービス開発による産業革新と社会課題の解決

URL : <https://exawizards.com/>

<広報に関するお問い合わせ先>

株式会社エクサウィザーズ 広報 メール : publicrelations@exwzd.com